

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

ホテル運営事業、不動産事業、インバウンド関連事業を融合し、旅マエ・旅ナカ・旅アト全段階をカバーするインバウンドサイクルで企業価値を向上させる。

現金及び預金
535百万円

社債発行額
260百万円

② 中長期の経営戦略

1. 都市型アパートメント開発

新規開発ホテルの運営権確保。数年後の大きな将来収益が期待できるアパートメントホテル運営に注力。

3. 不動産事業の収益化強化

宿泊施設転売、リゾート施設開発PM、戸建宿泊施設開発・販売ヘシフト。販売費・一般管理費をカバーする収益基盤確保。

2. 地方創生ホテル投資推進

ホテルの運営権確保、運営受託、経営コンサルティング案件取得。株式会社イントランスホテルズアンドリゾーツを中心に取引数増加。

4. 中華圏からの送客拡大

瀛創（上海）商務咨询有限公司による中華圏からの送客数拡大。グループ外ホテルへの送客も推進し取扱収益拡大。

③ 対処すべき課題

① 財務基盤の強化

- ・不動産・ホテル事業推進に必要な多額資金確保
- ・安定的な資金調達体制の構築

② ホテル運営事業の収益化

- ・既存リゾート・旅館の運営権新規獲得が課題
- ・複数事業間連携強化による成長取組
- ・ホテル施設運営、受託、投資ファンドなど多様な収益機会確保

③ 人材確保と経営基盤強化

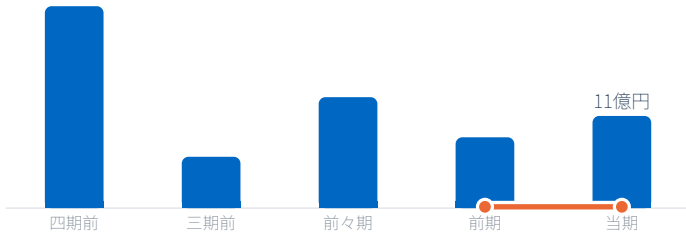
- ・施設運営・事業開発における人材確保
- ・グループ関係会社増加に伴う管理部門強化
- ・ホテル運営に精通する人材獲得

面接で使えるポイント

- ・不動産・ホテル運営・インバウンド事業を融合し、旅マエ・旅ナカ・旅アトのインバウンドサイクル展開に挑戦
- ・中華圏ネットワークを活用。瀛創（上海）などグループ会社で送客事業を推進中
- ・2025年5月に260百万円の社債発行を決議。ホテル運営事業の基盤確立投資段階で成長を目指す

証券コード 3237

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
11億円営業利益率
▲38.8%財務健康度
45点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 39.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
666万円

不動産業内 79位/130社

平均年齢
45.7歳

不動産業内 13位/131社

平均勤続
6.2年

不動産業内 67位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)イントランス【3237】：決算情報

